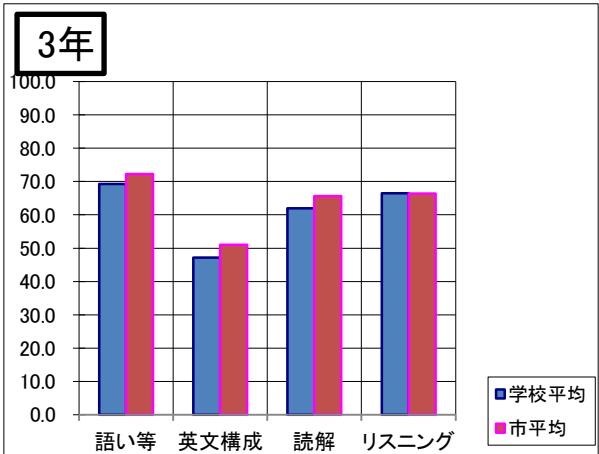
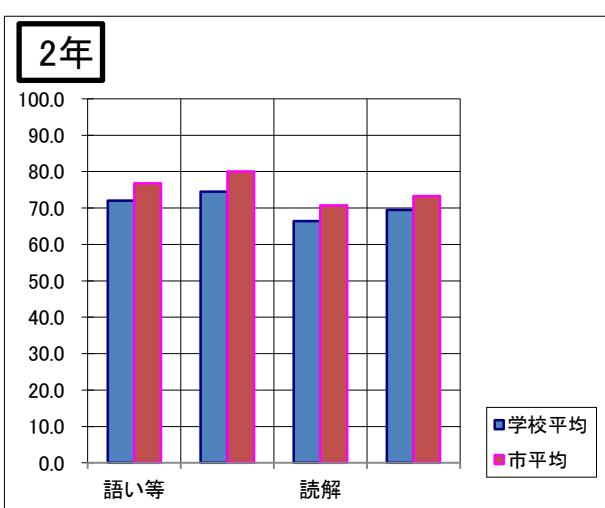


平成26年度 「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組【矢田西中学校】

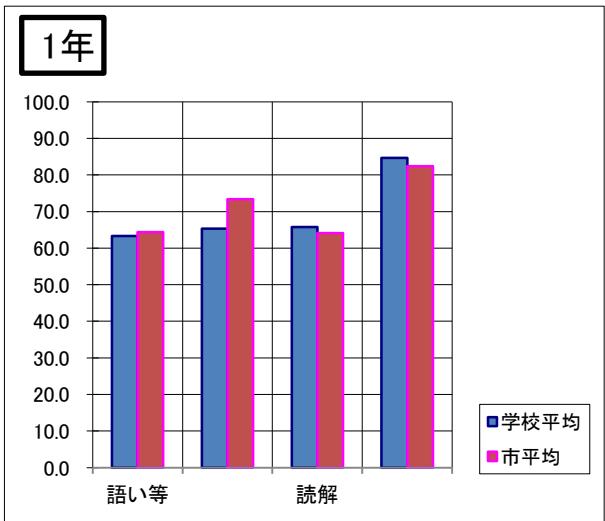
| 3年 | 語い等 | 英文構成 | 読解 | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 69.3 | 47.2 | 62.0 | 66.5 |
| 市平均 | 72.2 | 51.0 | 65.6 | 66.4 |



| 2年 | 語い等 | 英文構成 | 読解 | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 72.0 | 74.5 | 66.4 | 69.5 |
| 市平均 | 76.8 | 80.0 | 70.7 | 73.3 |



| 1年 | 語い等 | 英文構成 | 読解 | リスニング |
|------|------|------|------|-------|
| 学校平均 | 63.3 | 65.3 | 65.8 | 84.7 |
| 市平均 | 64.4 | 73.4 | 64.1 | 82.4 |



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年

英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

3項目で正答率が60%を超えた。特に「読解」では、昨年から10%以上向上した。

また、「英文構成」では5割を割っているが、昨年に比べて改善されている。

《結果をふまえた今後の取組》

語いの定着に関しては、基礎・基本の定着が一定の効果をあげていると考えられ、継続して取り組む。「英文構成」は、基本的な語順、文法事項の復習を行ない、「読解力」の向上につなげる。「リスニング」

2年

英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

すべての項目において市の平均を下回った。全体的な能力育成が必要である。

《結果をふまえた今後の取組》

基礎的・基本的な知識・技能の習得に力を入れて取り組む。語い力の向上、文法活用力の強化に重点を絞り、絵や写真等の視覚的な支援を十分に行い、英語の意味と音、文字とをつなげていく。

ドリル活動にも取り組みつつ、英語を使う中で文型に慣れるよう授業の中での英語の使用量を増やす。

1年

英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「読解」と「リスニング」で大阪市平均を上回った。しかし、「英文構成」では大幅に下回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

語彙力が低いために、文章を読み込む力が低くなっていると考えられる。そのため、単語テストや物語を読ませることによって、語彙力を高め、基礎的な語順、文法事項の復習を行なうなど、英文構成力や読解力の向上を図る。